

平成28年度 安全教育に係る協力活動

○防火・防災講演会の開催

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所の大講堂において、平成28年10月12日（水）、防災システム研究所所長の山村武彦氏を講師に迎え、「防災意識の醸成 災害に備えた取り組み、危機管理等」と題する防火・防災講演会が開催されました。

講演会は 256 名の方々が聴講され、東海ノア協定加盟の 7 事業所からも 8 名が参加されました。

講演では、各自治体、事業所で行われている防災訓練（消火訓練、避難訓練、安否確認訓練等）について、災害が発生した後の対処訓練であり、命を守ることを優先する「スマート防災」の観点からすると、大切な訓練が抜けている。「消火訓練の前に、火を出さない訓練」、「避難訓練の前に、災害から自分の命を守る訓練」といった災害を予防する訓練の視点を持つことが大切であり、普段から、家庭と職場に安全ゾーン（転倒落下物の少ない、閉じ込められない場所）を確保し、「カタカタと窓や戸が揺れたら」、「地震の小さな揺れを感じたら」、「緊急地震速報を聞いたら」、ただちに安全ゾーンへ移動、その場に合せた命を守る退避行動をとることが大切であると、締めくくられました。

〔講演会の様子〕

